



100周年に向け変わりつつある学園周辺整備

学校法人 四條畷学園全学同窓会長 大西 寛治

皆さまにおかれましては、学校法人四條畷学園並びに四條畷学園同窓会にご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

温帯地域から熱帯地域に移りつつある日本ですが、世界各地がこの暑さを経験しています。人間の英知では解決できない問題だと思いますが、この現実を作り上げた



のは人間かも知れません。また、各国がいがいみ合っている時代から、手を取り合って問題解決に向けて、また世界平和に向け、地球存続に向け手を取り合って欲しいと願っています。

今年の夏に開催されたパリオリンピックに、本学園高校出身の谷川亜華葉さんが競泳女子400メートル個人メドレーに出場されました。谷川さんは、高校3年生の時に同種目で東京オリンピックにも出場されました。

同窓会と四條畷学園にとって、この上ない誇りであり、今後も水泳界で活躍されることをお祈りしています。

さて、今、学園のあるJR四条畷駅周辺で、大東市四条畷駅周辺整備工事が行われています。四條畷学園の100周年と大東市JR四条畷駅周辺整備工事の時期が運よく重なり、駅周辺が大きく生まれ変わります。今すでに、小学校南側道路拡幅のアスファルト工事を残すのみになっています。7月からは、JR四条畷駅と学園敷地内と高架道路で繋ぐ高架の基礎工事が着工されます。2年後の四條畷学園100周年には、学園前の一方通行が大東市から払い下げになります。それにより分断されていた学園の敷地に道路が無くなり、全て一平面の敷地となります。保育園・幼稚園・小学校・中学校・高校・大学と連携のとれた敷地になります。創設者の牧田宗太郎先生、牧田環先生もきっと喜んでくださっていることと思います。期待して下さい。

私は、世間の方々からよく喋ると言われています。最近、頸椎の手術をしました。ついでに、口も縫って貰ったと言われました。私の持論ですが、「目は口ほどに物を言う」という諺があります。目は口以上にその人の感情を表すという意味の諺です。言葉で偽りごまかしても目を見ればその人の本心が分かる、「目は心の窓」という言葉もあります。確かに目の動きで真剣さが伝わってきます。コロナ禍のマスク着用の時代は、目力のある方の目は、眼力が有り熱意が伝わってきました。今の、混沌とした時代、口からの情報伝達も大事です。人と話してこそ情報伝達ができます。話の中から、本題と違う情報が次から次に飛び交います。黙って目だけを見合っても情報は得られません。話し合いの情報を自分のものにして下さい。しかし、話し合う時は、目を見つめ合い、目から伝わる真実度・本気度・情熱度を確かめ合しましょう。声だけしか聞こえない電話の向こう側の詐欺師には十分に注意して下さい。儲かる話なら人には言えませんよ。

学園の近くに来られましたら学園周辺の100周年に向けた取り組みを目と耳など五感で感じ取って下さい。これからも、学園に対してご支援・ご協力を宜しくお願い致します。少子化の時代です。皆さまのお子様・お孫様・お知り合いの方々に、保育園から大学までである学園にそして駅から0分・駅近・安心安全な学園への進学をお勧め下さい。

学園の“不易流行”を求めて

～100周年記念誌編纂プロジェクトing～

平素は四條畷学園の運営に何かとご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

令和8年の学園創立100周年に向け、昨年は記念事業として、総合ホール図書館リニューアル(愛称:「いもりねmanabi館」)や小学校リニューアル(第一期)を実施し、今春には5年振りに同窓会会員名簿を発刊しました。そして、今夏には、総合ホール食堂リニューアルや小学校リニューアル(第二期)を行い、来年以降、駅前整備事業関連で学園キャンパスのエントランス・中庭整備を進めていきます。

また、ソフト面でも、創立者牧田宗太郎先生(以下創立者という)の思いを教職員がメッセージとしてしっかり受け止め、共有するために、昨年8月、創立者の思いやイメージを示す言葉であるタグライン「学ぶ喜びをずっと。(joy of learning for life)」を発表しました。

4月には、このような100周年記念事業の取り組みを発信するため、記念特設サイト(右の二次元コード参照)を立ち上げました。この特設サイトには、「学ぶ喜びをず

と。」という言葉をかたちにした2つのスペシャルコンテンツとして、学園教職員のおすすめ本の紹介や「好き」をみつける学園の先生のインタビューを紹介しています。私のおすすめ本も紹介していますので是非ご覧ください。

そして、昨年9月に100周年記念誌の編纂プロジェクトチームを発足させ、学園高校の高山元校長、西脇前校長にとりまとめをお願いしました。各校園から教職員を協力委員に任命し、外部専門家のサポートのもと、発刊の準備作業を進めています。

今回の編纂にあたり、高山先生は90周年記念誌編纂の委員長を務められたご経験を踏まえ、次のように述べられました。

「記念誌を読んでもらいたいのは、同窓生や旧職員ばかりではなく、現職の教職員です。それら教職員の代表が熱意を持って記念誌編纂に携わることが大切です。今回の編纂作業を通して、継承すべき教育観などを再確認し、今後の更なる充実・発展に資するものにしたいものです。」

学園100年の歴史を出来事だけでなく、「創立者など

学校法人 四條畷学園理事長

小谷 明



先人がどのような思いで関わってこられたのか、戦中・戦後の混乱や最近のコロナなど、様々な困難にどのように向き合ってこられたのか」などを今の教職員が知ることで新たな学園教育づくりに活かすための学園の“不易流行”を求めていく機会にしていきたいと思えます。

最後になりますが、「学ぶ喜びをずっと。」というタグラインと今回の記念誌編纂に込められた思いを通じて、学園の歴史と目指す姿を同窓生の皆さんと共有するとともに、100周年を機に、学園ファミリーの更なる一体感につながることを願っております。

季節の変わり目、くれぐれもご自愛くださいますようお願い申し上げます。

100周年記念
特設サイト
公開中



予告

創立100周年記念

HOME COMING DAY 2026

四條畷学園 創立100周年記念ホームカミングデーのご案内

期日

令和8(2026)年10月24日土

100周年記念品を進呈

第I部

クラブの演技・演奏発表

場所 高校体育館

第II部

立食パーティー

場所 リニューアルされた学園町食堂

問合せ

同窓会事務局 TEL.072-876-1321(代表) 内線83-601

※詳細が決まり次第、ご案内いたします。楽しみにお待ちください。
令和6・7年は準備の為、「ホームカミングデー」は開催しません。
令和7年に「同窓会関東支部会」は開催予定です。



Elementary school

英語を通じ子ども達の世界を広げたい 2000年3月小学校卒業 大石 剛

「感 謝の気持ちさえ伝えられなかった。」私は、四條畷学園小学校での5年生の春休みに、オーストラリアへのホームステイに参加した。そのときに感じた正直な感想である。そして、この経験が今の私を形成する礎となっている。

現在、私は神奈川県立高等学校で英語の教員として勤務している。大学入試のみならず、グローバル化の進んだ現代社会において、英語は非常に大きな役割を果たす。確かに翻訳機械を活用することで、以前より英語でのコミュニケーションは容易になった。しかし、あくまで翻訳機械は「言葉を言葉通りに」翻訳することしかできない。言葉でのコミュニケーションの裏側には、文字以上の情報が隠れている。その意味を汲み取り、より深いコミュニケーションをとることが、信頼関係を築ききっかけとなる。英語は「共通語」として、人と人をつなぐのである。

近年、第二言語習得論(SLA)は非常に研究が進んでいる。また、生成AIをはじめとする、英語教育に関する

ツールも急速に進化している。これは、自らの経験のみを頼りにするのではなく、「英語教育の理論に基づいた」、かつ「適切なツールを使い、効果的な」授業の提供が必要とされていることを意味している。

ただし、言語学の観点から考えると「日本語」と「英語」は遠い場所に位置する。つまり、日本語母語話者にとって、英語は習得が非常に困難な言語である。また、教科書の構成を考えると、リーディング教材が中心である。しかし、このリーディング教材は学習者全員の興味・関心に合致した内容とは言えない。これは、英語力向上の名の下に、生徒に教科書を無理やり読ませている状況である。学習者が抱く英語学習への困難さに寄り添い、また進化するツールを活用しながら、少しでもその教材に興味・関心を持ち、自らの意思で意欲的に読み進める姿勢を養う工夫も必要であると感じている。

入試や英語外部検定試験、就職等への影響から、英語は勉強しなくてはいけないものと捉えられている。しかし、この思いばかり先行すると、英語の学習が苦行と

なってしまう。英語は人と人をつなぎ、自分の世界を広げるもので、できる限り楽しく、そして継続的に勉強するものであると私は考える。日本の高校生が卒業までに英語を習得し、不自由なく英語でコミュニケーションをとることができるレベルに到達することは、非常に難しい。だからこそ、常に自分の英語力や英語教育に関する情報をアップデートし、理論的かつ効果的な授業を、学習者に寄り添った形で提供したい。そして、高等学校卒業後も、自らの意思で継続的に英語を学習する生徒を育ててきたい。

2023年度 神奈川県優秀授業実践教員に選出され、タウンニュースに大石剛さんの記事が掲載されました。



Junior high school

縁はやおら形を成していく

1992年3月中学校卒業、1989年3月小学校卒業
ヴァーチャルサービス株式会社 代表取締役 田中 徳員

私 が四條畷学園中学校を卒業したのが30数年前です。iPhoneなどのスマートフォンはもとより携帯電話すら無い時代です。遊ぶ約束や待ち合わせで苦労したことは覚えております。しかし無いことが当たり前だったので不便さを感じることは無かったですが、おとうさん、おかあさんが出るかもしれない家の電話にかけなくても好きな子に直接連絡できてしまう今の学生のことは少し羨ましくも思います。すみません、冒頭から脱線してしまいました。

私は大東市で主な事業のほかにeスポーツ事業・コスプレ事業、小学生を対象としたサッカーチームの運営と人材育成を目的とした事業展開を行っております。私が四條畷学園での学びを振り返ると、出会った友人や先生方とのつながりは、社会での自分の活動にも影響を

与えていると気づかされました。例えば、小学校入学時に担任の先生に初めて教えて頂いたことは今でもしっかりと守り活かしております。おかげさまで多くの人々とのご縁を築くことができております。前述のとおり色々な事業を展開する上で沢山の皆様のご協力・ご指導が無いと、どの事業も成り立ちません。人のご縁に感謝せずにはいられない。四條畷学園で出会った仲間たちや先生方との絆は、私を成長させてくれましたし今でも刺激を受け続けています。冒頭でも少し触れましたが便利な世の中です。これからはAI(この文章もAIで作成しました。冗談です。)などの技術が今以上に凄いスピードで進化していくVUCA時代に入っているとされています。そんな時代にこそ人との関わりを大切に四條畷学園の教えと精神が必

要と信じています。令和8年に100周年を迎える四條畷学園に刺激を受けつつ、私自身も四條畷学園の教えである「報恩感謝」を胸に刻み、地域社会や地域の方の為に微力ではありますが四條畷学園で得た価値ある沢山の経験や受けた恩を次の世代に送り社会貢献に尽力し、未来に種を植え続けていきます。



詳細はこちらから



eスポーツ事業



少年少女サッカーチーム



コスプレ事業

高女の思い出

四條畷学園は、令和8(2026)年に創立100周年を迎えます。四條畷高等女学校(高女)は、大正15(1926)年に創立されました。先輩方に当時の思い出を振り返っていただきました。
※戦前の高等女学校は、昭和23年に新制高等学校に改編されました。



学園との絆 **高女19回生 馬野 愛子 (94歳)**

「同窓生として最後の集まりになる!」と、学園創立90周年の祝賀会に19回生数人と一っしょに参加して名残を惜しまましたが、今回「若楠会報」への寄稿という機会を頂き、またいろいろ思い出してみました。

昭和18年から5年間の学園での日々。やはり思い出すのは、2年生から3年生にかけての学徒動員です。日本の勝利を願って飛行機の風防を作りました。また、空襲で何回か怖い目にも遭いました。片町線の線路を歩いて帰ったこともあります。しかし、終戦後の9月からの学校生活はとても楽しくうれしいことが

多かったです。まず、文部省の制服から、あこがれのグリーンのスカートの制服に戻す運動をしました。学校行事もクラブ活動も一気に取り戻し、文化祭も体育祭も修学旅行も卒業式もできました。卒業時には「新高等学校3年生」ができて約20人が進学。私たちは、その翌年から毎年同窓会をしました。会場はいろいろ変わりましたが、ほとんどの人が参加し、学園がどんどん大きく新しくなっていくことを頼もしくうれしく語り合いました。

牧田宗太郎先生の『報恩感謝』の精神は今でも大切にしています。学園歌を歌えることが本当にうれしく思え、毎年送ってくださる『学園新聞』によって学園

とずっとつながっていることを感じています。学園の保・幼・小・中・高・短・大で、美しく大きくそして新しく素晴らしい教育を受けていらっしゃる後輩のみなさんに、心からのエールを送ります。

そして、先日どさっと重たく立派な四條畷学園同窓会名簿が届きました。急いで開けてみたら、小学校卒業名簿が載っていたのではと思いつきました。実は、昭和23年から17年間学園幼稚園に勤務しておりましたが、新米先生であったころ、仲良くしていた園児さんのお名前でした。今では、きっと良いお父さんとお母さんになっておられると思います。そして、園児と先生ではなく、同じ同窓生として100周年のお祝いをしたいと思います。おめでとうございます。

High school

2大会連続オリンピック出場！ 谷川 亜華葉さん 2022年3月高等学校卒業

2021年日本選手権女子400m個人メドレーで2位、派遣標準記録を突破し、本校在学中(高校3年生)に東京五輪に出場。そして、2024年パリオリンピック400m個人メドレーに出場します！

谷川さんにコメントをいただきました

＊オリンピックで楽しみにしていることは何ですか？

自分の力がどこまで世界に通用するのか楽しみです。



＊レースへの意気込みを教えてください。

まずは決勝に進出して、メダルが取れるように楽しみたいです。

＊在校生に向けてのメッセージをお願いします。

試練として与えられた壁から決して目を逸らさないこと。そして、感謝の気持ちと周りの人たちを大切にすることを忘れないください。



水泳部顧問の先生方に聞きました！

- ①後輩たちにとってどんなキャプテンでしたか？
- ②顧問やコーチからみてもこれはすごい！と思ったエピソードはありますか？
- ③亜華葉さんへの応援メッセージをお願いします。

＊守満夏希先生

①とても頼りになる先輩だったと思います。

在籍当時、高校3年生の近畿大会は、オリンピック出場のため不在でしたが、近畿大会へ臨む仲間へ連絡を入れるなど、常にチームのことも考えていました。結果はもちろんですが、日々のトレーニングや試合に臨む姿勢、先輩として、キャプテンとしての行動など、後輩たちの良き見本となる存在でした。

②こぞぞという時の勝負強さがピカイチの選手です。東京オ

リンピックの出場権をかけたレースでは、ラスト50メートルでラストスパートをかけて代表の座を掴みました。パリオリンピック出場を決めたレースでも、プレッシャーがかかる中で冷静にレースを運び、見事代表権を勝ち取りました。オリンピックでもその勝負強さを発揮してもらいたいです。

③2大会連続のオリンピック出場おめでとうございます。チャレンジする気持ちを大切に、オリンピックの舞台を全力で楽しんでください。応援しています。GO！あげは！

＊高田 燎先生

①常に憧れの存在だったと思います。

誰にでも分け隔てなく接することができ、前向きで明る

く、苦しい場面でも本当に頼りになるキャプテンでした。自分が苦しい状況でも、笑顔を忘れず、後輩や仲間へ声をかけていたのが印象的です。また競泳に打ち込む姿は、周りのモチベーションを高め、勇気を与えていました。

②自分を信じる力に長けていると思います。また苦しい状況でも楽しむことができる心の強さを持っています。

どんな時でもやるべきことをコツコツと積み重ねた結果が2大会連続五輪出場だと思います。その努力が確かな自信を生み、勝負強さと諦めない心の強さを発揮していると思います。

③2大会連続五輪出場おめでとうございます！パリの地で世界で1番輝いてきてください！応援しています。勝つのは誰だー?!... 亜華葉！

同窓生の集い

昨年の5月にコロナも5類に引き下げられ、同窓会も少しずつ開催されています。同窓会事務局に楽しい記事が届けられましたのでご紹介いたします。是非、皆さんも、学年・クラス・クラブ等で同窓生の集いを企画してください。ご相談等がありましたら同窓会事務局までお問合せ下さい。

岡橋 義隊先生「米寿」のお祝い

令和6年3月9日(土)四條畷学園高等学校ダイニングルームにて、昭和62(1987)年 第39回卒業 3年4組同窓会と岡橋義隊先生の米寿のお祝いを行いました。約37年振りの同窓会でしたが、担任の岡橋先生から現在同窓会事務局にお勤めの足立先生に依頼して頂き、今回の同窓会を開催する事ができました。足立先生から当時同じ学年で担任をされていた真野先生・綱島先生・白瀬先生にもお声かけ頂き、教師5名・卒業生14名の総勢19名の参加となりました。

久しぶりにお会いする先生方や同級生に緊張や不安がありましたが、学園の門に入ると、どんどん高校時代の記憶がよみがえってきました。新しい建物もありましたが、案内板のおかげで直ぐにダイニングルームへ行くことができました。いざ、扉を開けると55歳になり、かなり貫禄のある元女子高生達の姿があり、昔の

面影と風貌が懐かしくて心が躍りました。もう、おばあちゃんになった人も数名いましたが(笑)。

びっくりしたのは、先生方のお姿です。一目ですぐにわかる、以前と変わらない元気なお姿を拝見して、心が熱くなり、涙がこぼれそうになりました。

そして、先生方の近況報告をお聞きしていると授業を受けているような懐かしさがあり、知らぬ間にプロの話術に惹き込まれていました。最後は、我らの岡橋先生です。岡橋先生は、とても優しく人気のあるマルチな先生でした。それは、書道の先生・お寺の住職・ダンスの先生・鍼灸師・歌手です。これは、世界の太谷翔平にも負けない五刀流です。多才な岡橋先生は、米寿を迎えられて、器の大きさや懐の深さに益々磨きがかかり、今もな



お紳士的で尊敬できる自慢の先生で、感動しました。5年後、私達が60歳を迎える時に「還暦同窓会」と岡橋先生の変わらぬ元気なお姿での再会を約束して、今回の同窓会はお開きとなりました。

今回、ご連絡できなかった同窓生の皆さま、右の二次元コードにお友達登録して頂いたら幸いです。

5年後、クラス全員でお会いしましょう。

(小林智子・北村智恵美)



お友達登録はこちらから



人間愛溢れる薫陶を受けて 高女13回生 竹井(廣岡) りさ子 (100歳)

今も飯盛山麓を通りますと、森に包まれた牧田邸、そして牧田宗太郎校長先生の慈愛溢れる穏やかなお姿が浮かんでまいります。

うつつ世は 楽しかりけり 春ながら

鳥はさへぶり 花も笑ひて

尊い人生観のこもる宗太郎先生のこのお歌を、私は人生の灯(ともしび)として、素晴らしい「うつつ世」を楽しく生きてまいりました。

女学校時代の印象深い思い出は、校長先生による家庭訪問です。

私の家は葛屋葺きのあばら家でしたのに、「古風なお家ですね」と言ってくださいました。全生徒の家庭訪問をされることにとても感動しました。

また、授業はどの教科も斬新で行き届いたご指導でした。殊に懐かしく思い出すのは、藤澤先生の英語です。個々の口元を優しく見つめつつ机間巡視を

して発音の徹底を図ってくださった先生のにこやかなお顔とその指導法は、後日私の教師生活での基本となりました。割烹の授業の最初の献立は、「さくらご飯とサラダ」。生まれて初めての味、マヨネーズ・ケチャップ・ハム・バターなどを使った料理で、この後も毎週次々と素敵な料理を学習し、田舎者の私は超感激いたしました。

行事では、1学期末の助松学校(臨海学舎)がとても楽しく、次々昇級卒業時には泳ぎに自信を持つことができました。折しも「国民皆泳」の時局、卒業後は、国民学校高等科の体育授業で野崎や北条の山の池にて水泳指導に当たりました。助松学校で得た自信のたまものでした。また、「行軍」という行事があり、学校出発で随分方々へ歩きました。楠木正成公の供養塔と正行公のお墓がある東大阪市の往生院、後鳥羽院の水無瀬宮などは今も覚えています。紀元2600年建国奉仕として、橿原神宮にて畚(もっこ)を担ぎ土

運びもしました。夏休みを利用して小グループの活動があり、私は「万葉集の旅」を選び、名草山を手始めに南紀から北山川沿いに吉野・飛鳥・藤原京跡に至る二泊三日の旅。そこで、万葉歌と故地の歴史を学びました。終生歴史と詩歌に心ひかれるのもこの縁でした。その後、牧田正知先生に、友人2人と共に、時々有名な古寺やお宮古墳等に連れて行って頂きました。その中でも、巢山の古墳は今もはっきり覚えています。

そして、このようにより深い学習の方法を教えてくださいました。

昭和12年入学の年に日中戦争が勃発、16年には太平洋戦争に突入という戦時下でしたが、牧田先生ご一族の人間愛溢れる高邁なる理念のもとに薫陶を受け、人生で最も多感な少女期に人としての基礎を楽しく健やかに育てていただきました。そのおかげで今まで幸せな人生を歩み続けることができました。今も健やかな心と身体で8月(令和6年)には百歳を迎えます。

御恩に深く感謝申し上げます。学園のいよいよのご隆昌をお祈りいたします。

University

Junior college

四條畷学園に感謝

2005年3月短大(リハビリテーション学科)卒業
 ※2001年短大リハビリテーション学科3年制開学
 2005年に大学へ改編
 株式会社ともにあゆむ 代表取締役 崧山 泰志

短期大学2期生(作業療法専攻)の崧山泰志と申します。現在、和歌山市で株式会社ともにあゆむにて代表取締役を務め、地域密着型通所介護“紀のいえ”や訪問介護、カフェを運営しております。

学校生活は、友人との時間と作業療法の学びでかけがえのない時間でした。講義終了後、友人と集まり夕食とともにたわいもないことを語り明かしました。学びは講義の一つ一つが勉強になりました。特に、地域作業療法学や認知症を学ぶ老年期治療学が興味深く、「子どもからお年寄りまで住み慣れた自宅・地域でできるだけ長くいきいきとした暮らしを支援する」ということを学習し、地元の和歌山市でそういう仕事がしたいと強く思いました。

現在、介護保険下で仕事をしています。「日中、私が仕事で認知症がある妻が一人になって心配なのでデイサービ

スを利用したい」「認知症が進行しないようにリハビリテーションをして欲しい」「色々な人と交流して楽しく過ごして欲しい」色々なご希望に対して、その方がしたいことは何か?家族からできるようになって欲しいと期待されていることは何か?その方が好きな活動は、家事?散歩?木工?お一人お一人と向き合わせて頂いています。

「紀のいえを利用して良かった」と思ってもらえるよう、対象者と家族が住み慣れた自宅ですできるだけ長くいきいきと暮らせるよう職員一同で取り組んでいます。

今があるのは四條畷学園での学びがあったからだに感謝しています。



楽しいと思える仕事に出会えました!

2024年3月短大(ライフデザイン総合学科)卒業
 エフビコ商事株式会社 管理部 総務人事課(採用担当)
 徳永 智咲

「将来、人の役に立ちたい」と漠然とした目標しかなく、何を学んだらいいかわからない時に、四條畷学園短期大学との出会いがありました。オープンキャンパスに参加して秘書検定に興味を持ちました。そして、他にも幅広い分野の資格取得で「なりたい自分」になれるライフデザイン総合学科に入りたくと決意しました。

1年生の頃は、様々な分野を知るために医療事務や心理学、IT、ビジネスなどを学びました。その中でもやはり秘書検定の勉強が面白く、ただ資格を取りたいから学ぶのではなく、この勉強をすることで自分自身の成長が実感できたため頑張ることが出来ました。秘書検定前に先生が授業以外で開催してくださった勉強会や、わからないことをメー

ル等で親身になって対応していただいたお陰で「秘書検定1級」を取得することができました。この知識を活かせる企業に入りサポート側の仕事がしたいと思い、今の会社に就職しました。入社後は総務人事課に配属となり、なわたんまで取得した秘書検定はもちろん、Word 1級、Excel 2級の資格も活かして楽しく働いています。なわたんに入学して、様々な資格を取得することによって将来の選択が広がりました!この学校と出会えたから今こうして充実した日々を過ごせているのだと感謝しています。



卒業後のやりがいあふれる日々

2009年3月短大(保育学科)卒業
 社会福祉法人晋栄福祉会 幼保連携型認定こども園
 城東ちどり保育園(主幹保育教諭) 福井 真実

入職してから16回目の入園式を迎えました。新設園のオープニング職員として、初めての入園式では、担任紹介の場面で自分が先生として紹介され、保護者の方や子どもたちへ話すときとても緊張したことや、「先生」と呼ばれた時の嬉しくて少しくすぐったい気持ちを鮮明に覚えています。

初めて担任をもち、喜びと不安の中、四條畷学園短期大学での学びが助けとなりました。クラスメイトと表現の授業で経験した劇作りや、絵本の読み聞かせを実践していたおかげで、保育現場に出る前に役立ち、保育の中で強みとなりました。特に絵本や紙芝居、エプロンシアターは教材としてだけでなく、子どもたちと心の距離を縮めてくれるきっかけとなり「また読んでね」「このおはなし大好き」と会話がはずみました。

保育園の先生という仕事は、楽しいだけではなく、小さな命を預かる責任の重さ、数多い行事をすすめる忙しさなど、大変なこともたくさんあります。しかし、そのような中でも、この仕事を辞められないと思う理由はやはり子どもたちの笑顔です。

お家の人と過ごしてきた子どもたちは、生まれて初めて他者に預けられ

安や寂しさの中で泣いて過ごすことも多々ありますが、先生の顔を覚えて少しずつ安心した表情を見せてくれるようになり、とびきりの笑顔で「せんせい、おはよう」「せんせいだいすき」と腕に飛び込んできてくれた時、この仕事を何年していても何度も充実感が胸がいっぱいになります。

主幹保育教諭としての役割を任されてから、クラスをもつことはなくなりましたが、全ての学年の子どもたちを担当している気持ちで毎日サポート業に力を尽くしています。子どもの成長と、若手や中堅の先生たちの成長がやりがいであり、こんなにも心をつかう、心が動く、心が輝くこの保育という仕事が本当に大好きです。

学生のみなさん、学業もあそびも全力で取り組んでください。先生が楽しいと子どもは必ず楽しめます。先生が笑うと子どもは笑います。自分が楽しいと感じる気持ちを大切に、子どもたちの未来をつくる尊さとやりがいあふれる仕事を楽しみながら歩めるよう応援しています。

学園での学びを活かし
理想の看護師へ向けて自己研鑽

2024年3月大学(看護学科)卒業
 独立行政法人地域医療機能推進機構
 大阪みなと中央病院 看護師 河村 信之介

四條畷学園大学看護学部を2024年に卒業しました看護師1年目の河村信之介です。現在は、独立行政法人地域医療機能推進機構大阪みなと中央病院に就職し、消化器外科・歯科口腔外科で働いています。この病棟では消化器系癌の治療を行う患者さんが入院していることもあり、術後の全身状態の観察から始まり、患者さんが疾患と向き合い自宅退院を目指すといった広範囲の看護を学ぶことが出来ています。

現在は、先輩からの指導の下で日々患者さんと関わり看護を学びながら必要な技術を学び自己研鑽に取り組んでいます。

こちらの病院は研修制度が整っており、入社してすぐは病棟での実務経験

と研修を交互に行うことで安心して技術を学びながら成長することが出来ます。また、1年間のプログラムが決められていることによって無理なく成長していくことが出来ています。今後は8月ごろからローテーション研修を行い9月ごろから夜勤勤務が始まっていく予定です。

今は業務を覚えることで精一杯な時期ですが、大学での学びや日々の学びを活かして患者さんの思いを汲み取り笑顔で、その人が思い描く生活を支援できるような看護師になれるよう日々努力していきたいと思っています。



事務局からのお知らせ

1.年会費納入のお願い

このたび、第14号「若楠会報」を発行することができました。同窓生の皆さまのご協力のお陰であり、心より感謝申し上げます。同窓会の活動は、若楠会報の発行(約3万人に発送)・全学同窓会ホームカミングデー開催などがあります。これらの活動は、同窓生の皆さまの入会金・年会費により賄われており、一人でも多くのご支援が不可欠であります。

同窓会活動のより一層の活性化の為、**年会費2,000円の納入について、何卒ご協力のほどお願い申し上げます。**
 (小学校・中学校の会員の方は20歳以降、高等学校・短期大学・大学の方は、卒業後5年が経過した年より年会費納入をお願いしております)

2.住所変更のご連絡について

同窓会HP(右の二次元コード)からご連絡をお願いします。
 また、皆さまのお知り合いの卒業生で、若楠会報が届いていない方は、住所不明者になっていると考えられます。住所変更のお声かけをお願いします。



同窓会HP

3.「若楠会報」への寄稿について

若楠会報では、同窓生の方の近況やクラス会の様子をご紹介しています。また、旧職員の皆さまからのお便りも掲載しています。皆さまのご寄稿をよろしくお願いいたします。

4.令和6年3月の名簿発行について(お礼)

四條畷学園は、令和8年(2026年)に創立100周年を迎えます。記念事業の一環として同窓会名簿を令和6年3月に無事に発行出来ました。これもひとえに、会員の皆さまの絶大なご協力のおかげであると心から感謝申し上げます。また、名簿発行で多数の皆さまから賛助金、賛助広告掲載、情報の提供などのご支援をいただきありがとうございました。

今後とも、同窓会活動のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

同窓会事務局の
ご案内について

事務局は四條畷学園短大清風学舎6階にあります。同窓会開催のお問い合わせや情報の提供などをお寄せください。また、機会があればお立ち寄りください。

問合せ 事務局長在室

月・火・木・金 9:00~16:00
 ☎ 072-876-1321(内線83-601)
 ✉ dousoukai@shijonawate-gakuen.ac.jp